

7月の乳幼児の健康診査

*該当月に受けられない場合は子育て支援課または各支所保健福祉課へ連絡してください

地域	内容	対象	日	受付時間	場所
一関 花泉	3～4カ月児健診	28年3月1日～15日生まれ	27(※)	12:45～13:00	一関保健センター
		28年3月16日～31日生まれ	28(※)		
	9～10カ月児相談	27年9月1日～7日生まれ	27(※)	8:45～9:00	
		27年9月8日～30日生まれ	28(※)		
	1歳6カ月児健診	26年12月1日～17日生まれ	14(※)	12:45～13:00	
		26年12月18日～31日生まれ	15(金)		
2歳6カ月児歯科健診	26年1月1日～14日生まれ	14(※)	8:45～9:00		
	26年1月15日～31日生まれ	15(金)			
3歳児健診	25年1月1日～13日生まれ	7(※)	12:45～13:00		
	25年1月14日～31日生まれ	8(金)			
大東 千厩 東山 室根 川崎 藤沢	3～4カ月児健診	28年3月生まれ	26(※)	12:45～13:00	川崎防災センター
	9～10カ月児相談	27年9月生まれ	19(※)	9:00～9:15	千厩保健センター
	1歳6カ月児健診	26年12月生まれ	21(※)	12:45～13:00	
	2歳6カ月児歯科健診	26年1月生まれ	19(※)		
	3歳児健診	25年1月生まれ	20(※)		

*きょうだいなどの同伴でお手伝いが必要な人は託児スタッフが対応します。健診日の2週間前まで申し込んでください

●子育て支援課（一関保健センター内）または各支所保健福祉課

information

ふれあいひろば

●一関子育て支援センター ☎4170

就学前の子供と保護者が、自由に遊んで交流を深めます。保育士・専門スタッフが子育ての相談にも応じます。

◇日時…月～(※)9:30～15:30、(金)・第1(※)・第3(※)13:30～15:30(※を除く)

◇場所…一関保健センター

食生活改善推進員養成講座

●保健福祉部健康づくり課 ☎2160

食生活や健康づくりのボランティアとして活躍しませんか。費用は無料です。

◇日時…8月2日(火)、26日(金)、9月9日(金)、27日(火) *各回おおむね9:30～15:30

◇場所…一関保健センター

◇申し込み・定員…7月1日(金)～7日(木)・先着40人(市内在住の人)

保健所の7月の検査など

●一関保健所 ☎1415

【①骨髄バンクドナー登録と②血液等検査】

◇日時…7月12日(火) *時間は①9:00～9:30 ②11:00～12:00

◇場所・費用…一関保健所・無料

◇申し込み…要予約(①は2日前までに②は前日までに) *②の検査種類はHIV、肝炎、クラミジア

【医師によるこころの健康相談】

◇日時・場所…7月7日(土)13:30～15:30・旧千厩合同庁舎

【フリースペースひだまり】

◇日時・場所…7月4日(日)13:30～16:00・市勤労青少年ホーム

医療と介護の窓

～みんなで守ろう地域医療～



文：一関保健所

地域医療構想の取り組みについて

急速な少子高齢化の進行により、医療や介護の需要が増えました。慢性疾患や複数の病気を抱えるなどの疾病構造の変化が予測されます。医療を必要とする要介護者や認知症高齢者に対応する、より効果的なサービス提供が求められ「医療と介護の連携」の必要性が高まっています。

こうした中、国は、医療介護総合確保推進法を制定しました。県は、地域における医療提供体制に関する将来構想である「岩手県地域医療構想」を2016年3月に策定しました。この構想は、団塊の世代の住民が、全て後期高齢者になる25年の医療需要を想定し、より効果的に質の高い医療提供体制の構築を目指すものです。

具体的には、県内9つの構想区域(二次保健医療圏)を単位として、

将来の病床の機能区分ごとの必要数、在宅医療の必要量など、構想実現に向けて取り組む事項などを定めています。①難しい手術や集中治療室への入院が必要な「高度急性期」②一般的な手術や手厚い看護が必要な「急性期」③急性期後のリハビリや在宅への復帰に向けた医療を担う「回復期」④慢性的な病状の患者が長期で療養を行う「慢性期」の4つに対し、医療提供と、在宅医療・介護に至るまで一連のサービスが切れ目なく提供される体制を確保することを目指します。

両磐構想区域(一関市、平泉町)の地域医療構想では、医療関係者や市町等を構成員とする「両磐保健医療圏の地域医療を守る懇談会の部会」で協議しながら、将来にわたり、医療体制が確保されるよう取り組むことにしています。

●健康づくり課(一関保健センター内)

重ねた年月、刻んだ年輪
百年目の寿

大正・昭和・平成一。
3つの時代を駆け抜け、歩んできた1世紀の軌跡。
たくさんの人たちの笑顔に囲まれ、
100歳の誕生日を迎えた6人を紹介します。

吉田スエ子さん

Yoshida Sueko



東山町長坂
大正5年6月5日生まれ

23歳で隆さんと結婚したスエ子さん。畑作や林業で子供たちを養いました。規則正しい生活を心掛け、食事も入浴も自力で行います。歌が好きで、昔を思い出しては口ずさみます。三女の亀卦川京子さんは「休みなく働く姿を見て育った。おだやかに毎日を過ごしてほしい」と願いました。

小山うめさん

Oyama Ume



大東町沖田
大正5年2月25日生まれ

うめさんは、夫の守太さんと共に農業に従事し、草刈りに精を出しました。今も庭の草取りや、廊下のモップ掛けを行っています。ひ孫の春樹さんは「寡黙で、やさしいおばあさん。悪口を聞いたことがない。元気に暮らしてほしい」と話し、家族と通所する施設の職員らが100歳を祝いました。

金野タマキさん

Konno Tamaki



千厩町千厩
大正5年6月10日生まれ

21歳で萬さんと結婚。競走馬の飼育や、葉タバコ、水稻などの農業に従事しました。働き者で、今でも家族に「何か手伝うことはないか」と声を掛けます。最近ではデイサービスで覚えた歌を家で口ずさむことも。長男の重雄さんは「多くの人の支えがあつて100歳を迎えられた」と感謝していました。

長山千矢子さん

Nagayama Chiyako



新大町
大正5年5月13日生まれ

千矢子さんは若い頃、銀行員の夫・忠吾さんの転勤で気仙沼や盛岡など各地を転々。専業主婦として家庭を守りました。趣味は、97歳頃まで続けた縫い物と編み物。動物が大好きで、毎年、巣を作りにくるツバメを楽しみにしています。千矢子さんは「悔いのない100年だった」と話していました。

中澤公一さん

Nakazawa Koichi



大東町大原
大正5年6月13日生まれ

1941年にヤイノさんと結婚。戦後、葉タバコや養蚕など農業に従事しました。旧大東町時代に統計調査で町勢功労者として表彰されるなど、地域に貢献しました。当日は、親戚25人に囲まれながら「長生きしてよかった」とっこり。長男の逸男さんは「これからも健康でいてほしい」と願っていました。

佐藤しげさん

Sato Shige



三関
大正5年5月31日生まれ

子供4人、孫6人、ひ孫7人がいるしげさん。ドライブが好きで、家族で外出することが楽しみの一つです。通所する施設の職員から100歳の記念品を受け取ると「最高にうれしい」とうれし涙を流していました。長男の妻の志津子さんは「長生きできているのは周りの皆さんのおかげ」と感謝していました。